

24時間くりかえしタイマー保証書

本書はお買上げの日から下記期間中故障が発生した場合には
本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
ご記入いただきました個人情報の利用目的は本書裏面に記載して
おります。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買上げ
の販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

WH3301・WH3311

品番	お買上げ日から 本体 1年間
保証期間	年 月 日
*お買上げ日 (和暦)	年 月 日
お客様ご住所	お名前 様
電話	() -
*販売店	住所・店名
電話	() -

パナソニック株式会社 パワー機器ビジネスユニット
〒514-8555 三重県津市藤方1668番地

〈ご販売店様へ〉※印欄は必ず記入してお渡しください。

使用方法(タイマーのセット)

◆はじめて使用するときは…

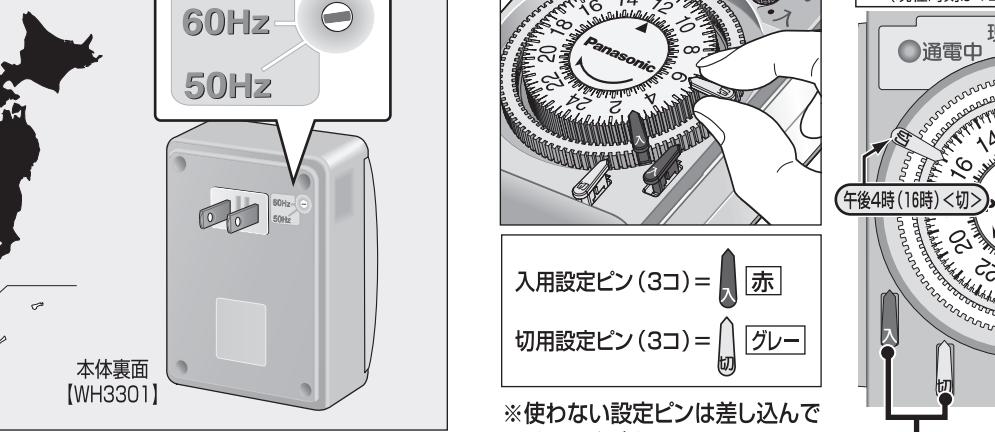
電源の周波数に合わせる(本体裏面、周波数切替レバー)

お住まいの周波数がわからない場合は、契約されている電力会社にお問い合わせください。

※出荷時は60Hzに設定しています。

【周波数切替レバー】

※コインで切り替えてください。



1 タイマー時刻を設定する

① カバーを開けます。



2 設定ピンを抜き、希望する時刻に合わせて差し込みます。

- <入>または<切>の1動作から<入><切>それぞれ3回ずつ最大6動作までセットできます。

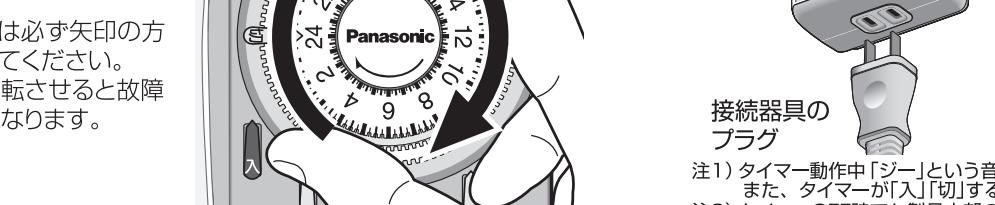
設定例(2動作の場合)

例) 午前10時に「入」、午後4時に「切」の場合
(現在時刻が12時の図)(1目盛:15分)



セット時のご注意

- 設定ピンは確実に奥まで差し込んでください。



3 タイマーセットを完了する

◆セッタされた時刻を変更する場合は……

設定ピンを抜き、変更したい時刻に差し込んでください。

- <入>または<切>の1動作から<入><切>それぞれ3回ずつ最大6動作までセットできます。

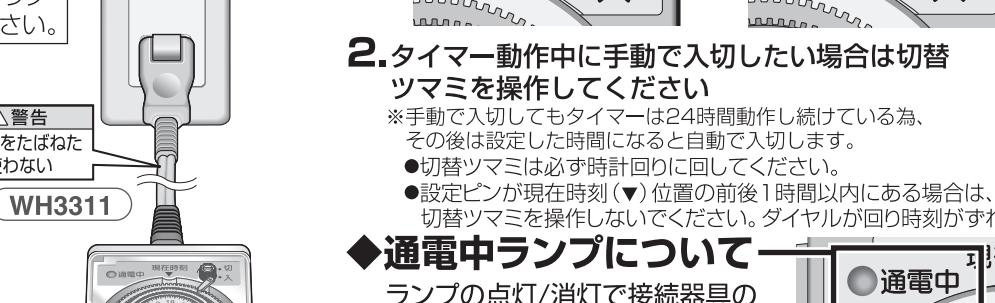
設定例(2動作の場合)

例) 午後8時「入」設定を午後10時の「入」設定に変更

※タイマーの動作にしたがって<入><切>は切り替えます。

接続器具は今、<入>の状態です

接続器具は今、<切>の状態です



◆切替ツマミについて

1. ツマミの位置で接続器具の<入><切>状態が確認できます。

例) 午後8時「入」設定を午後10時の「入」設定に変更

※タイマーの動作にしたがって<入><切>は切り替えます。

接続器具は今、<入>の状態です

接続器具は今、<切>の状態です

2. タイマー動作中に手動で入切したい場合は切替ツマミを操作してください

※手動で入切してもタイマーは24時間動作し続けている為、その後は設定した時間になると自動で入切れます。

- 切替ツマミは必ず時計回りに回してください。
- 設定ピンが現在時刻(▼)位置の前後1時間以内にある場合は、切替ツマミを操作しないでください。ダイヤルが回り時刻がずれます。

3 現在時刻を合わせる

◆現在時刻を合わせる

ダイヤルを時計回りに回しながら、▲(現在時刻合わせ位置)に現在時刻(目盛)を合わせます。

- 停電時や本体を一度コンセントから抜いた場合は、再度現在時刻に合わせてください。

●設定ピンは確実に奥まで差し込んでください。

- ダイヤルは必ず矢印の方向に回してください。無理に逆転させると故障の原因になります。

24時間

くりかえしタイマー

取扱説明書



◆通電中ランプについて

ランプの点灯/消灯で接続器具の<入><切>状態が確認できます。

接続器具は今、<入>の状態です

接続器具は今、<切>の状態です

◆動作数の設定について

6動作以上設定する場合は別売の設定ピン(WH3300P)をお買い求めください。

注1) タイマー動作中「ジー」という音がしますが異常ではありません。また、タイマーが「入」「切」するとき、「カチッ」と音がします。

注2) タイマーOFF時でも製品内部のモーターが駆動しているため、動作音が発生する場合があります。

●お買上げありがとうございました。

●ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しく使用してください。

●この取扱説明書は必ず保管してください。

●この商品は侵入や盗難等を阻止するものではありません。

●万一被害に遭われても一切責任は負えませんのでご了承ください。

安全上のご注意

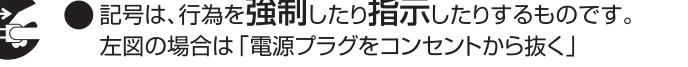
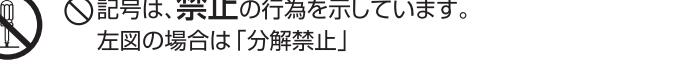
※ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、注意事項は次のように区分しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

注意 人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容

絵表示の例



※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告

●必ず交流100Vで使用する
守らないと発熱・発火や感電の原因になります。

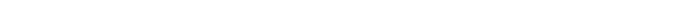
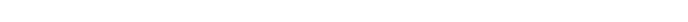
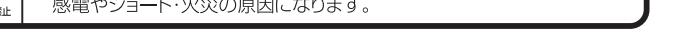
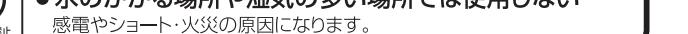
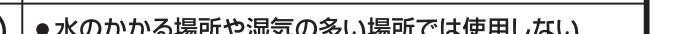
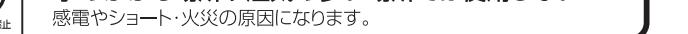
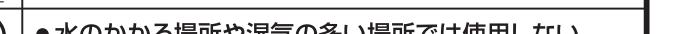
●屋内で使用する
守らないと雨水などにより感電やショート・火災のおそれがあります。

●絶対に本体を改造・分解・修理しない
発火や異常動作の原因になります。

●水のかかる場所や湿気の多い場所では使用しない
感電やショート・火災の原因になります。

トラッキング現象とは

電源プラグの刃の間にたまつたホコリに湿気が加わると微弱な電流が流れ、プラスチック樹脂面が炭化して導電路が形成される現象です。この現象によって焼損や発火による火災が発生することもあります。



警告

●本体を水につけたり、かけたりしない
感電やショート・火災のおそれがあります。

●ぬれた手で使用しない
感電やショートのおそれがあります。

●容量を超えて使用しない（「使用上のご注意」参照）
発熱・発火の原因になります。

●落としたり、ぶつけたりして、損傷した場合や接続器具の電源コードが傷ついている場合は使用しない
感電や発火の原因になります。

●コンセントにプラグを差し込んだときに、ガタ、ユルミのある場合は使用しない
感電や発熱・発火の原因になります。

●コードをたばねたまま使わない
コードを伸ばさないと放熱にくくなり、発熱による焼損や火災の原因になります。

WH3311 ●コードをたばねたまま使わない
コードを伸ばさないと放熱にくくなり、発熱による焼損や火災の原因になります。

注意

記号は、禁止の行為を示しています。
左図の場合は「分解禁止」

記号は、行為を強制したり指示したりするものです。
左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告

●コードを固定しない
●敷物の下に入れない
●ふとんをかけたり、電気カーペットの上では使用しない
発熱・発火の原因になります。

●必ず守る

警告

●ぬれた手で使用しない
感電やショートのおそれがあります。

●容量を超えて使用しない（「使用上のご注意」参照）
発熱・発火の原因になります。

●落としたり、ぶつけたりして、損傷した場合や接続器具の電源コードが傷ついている場合は使用しない
感電や発火の原因になります。

●コンセントにプラグを差し込んだときに、ガタ、ユルミのある場合は使用しない
感電や発熱・発火の原因になります。

●コードをたばねたまま使わない
コードを伸ばさないと放熱にくくなり、発熱による焼損や火災の原因になります。

●コードをたばねたまま使わない
コードを伸ばさないと放熱にくくなり、発熱による焼損や火災の原因になります。

注意

記号は、禁止の行為を示しています。
左図の場合は「分解禁止」

記号は、行為を強制したり指示したりするものです。
左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告

●コンセントから抜くときは電源プラグを持って抜く
守らないと火災や感電・やけどの原因になります。

●使用後やお手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く
抜かないと火災や感電・けがの原因になります。

●半年に1回電源プラグと接続器具を抜いて、コンセント口・
プラグのホコリや汚れをとる（トラッキング予防）
ホコリがたまつま放置すると発火・焼損の原因になります。

●コードを固定しない
●敷物の下に入れない
●ふとんをかけたり、電気カーペットの上では使用しない
発熱・発火の原因になります。

●必ず守る

●必ず守る

●必ず守る

●必ず守る

●必ず守る

●必ず守る

●必ず守る

●必ず守る

●必ず守る

警告

●ぬれた手で使用しない
感電やショートのおそれがあります。

●容量を超えて使用しない（「使用上のご注意」参照）
発熱・発火の原因になります。

●落としたり、ぶつけたりして、損傷した場合や接続器具の電源コードが傷ついている場合は使用しない
感電や発火の原因になります。

●コンセントにプラグを差し込んだときに、ガタ、ユルミのある場合は使用しない
感電や発熱・発火の原因になります。

●コードをたばねたまま使わない
コードを伸ばさないと放熱にくくなり、発熱による焼損や火災の原因になります。

●コードをたばねたまま使わない
コードを伸ばさないと放熱にくくなり、発熱による焼損や火災の原因になります。

注意

記号は、禁止の行為を示しています。
左図の場合は「分解禁止」

記号は、行為を強制したり指示したりするものです。
左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告

●コンセントから抜くときは電源プラグを持って抜く
守らないと火災や感電・やけどの原因になります。

●使用後やお手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く
抜かないと火災や感電・けがの原因になります。

●半年に1回電源プラグと接続器具を抜いて、コンセント口・
プラグのホコリや汚れをとる（トラッキング予防）
ホコリがたまつま放置すると発火・焼損の原因になります。

●コードを固定しない
●敷物の下に入れない
●ふとんをかけたり、電気カーペットの上では使用しない
発熱・発火の原因になります。

●必ず守る

●必ず守る

●必ず守る

●必ず守る

●必ず守る

●必ず守る

●必ず守る

●必ず守る

●必ず守る

警告

●ぬれた手で使用しない
感電やショートのおそれがあります。

●容量を超えて使用しない（「使用上のご注意」参照）
発熱・発火の原因になります。

●落としたり、ぶつけたりして、損傷した場合や接続器具の電源コードが傷ついている場合は使用しない
感電や発火の原因になります。

●コンセントにプラグを差し込んだときに、ガタ、ユルミのある場合は使用しない
感電や発熱・発火の原因になります。

●コードをたばねたまま使わない
コードを伸ばさないと放熱にくくなり、発熱による焼損や火災の原因になります。

●コードをたばねたまま使わない
コードを伸ばさないと放熱にくくなり、発熱による焼損や火災の原因になります。

注意

記号は、禁止の行為を示しています。
左図の場合は「分解禁止」

記号は、行為を強制したり指示したりするものです。
左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告

●コンセントから抜くときは電源プラグを持って抜く
守らないと火災や感電・やけどの原因になります。

●使用後やお手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く
抜かないと火災や感電・けがの原因になります。

●半年に1回電源プラグと接続器具を抜いて、コンセント口・
プラグのホコリや汚れをとる（トラッキング予防）
ホコリがたまつま放置すると発火・焼損の原因になります。

●コードを固定しない
●敷物の下に入れない
●ふとんをかけたり、電気カーペットの上では使用しない
発熱・発火の原因になります。

●必ず守る

●必ず守る

●必ず守る

●必ず守る

●必ず守る

●必ず守る

●必ず守る

●必ず守る

●必ず守る

警告

●ぬれた手で使用しない
感電やショートのおそれがあります。

●容量を超えて使用しない（「使用上のご注意」参照）
発熱・発火の原因になります。

●落としたり、ぶつけたりして、損傷した場合や接続器具の電源コードが傷ついている場合は使用しない
感電や発火の原因になります。

●コンセントにプラグを差し込んだときに、ガタ、ユルミのある場合は使用しない
感電や発熱・発火の原因になります。

●コードをたばねたまま使わない
コードを伸ばさないと放熱にくくなり、発熱による焼損や火災の原因になります。

●コードをたばねたまま使わない
コードを伸ばさないと放熱にくくなり、発熱による焼損や火災の原因になります。

注意

記号は、禁止の行為を示しています。
左図の場合は「分解禁止」

記号は、行為を強制したり指示したりするものです。
左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

警告

●コンセントから抜くときは電源プラグを持って抜く
守らないと火災や感電・やけどの原因になります。

●使用後やお手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く
抜かないと火災や感電・けがの原因になります。

●半年に1回電源プラグと接続器具を抜いて、コンセント口・
プラグのホコリや汚れをとる（トラッキング予防）
ホコリがたまつま放置すると発火・焼損の原因になります。

●コードを固定しない
●敷物の下に入れない
●ふとんをかけたり、電気カーペットの上では使用しない
発熱・発火の原因になります。

●必ず守る

●必ず守る

●必ず守る

●必ず守る

●必ず守る

●必ず守る

●必ず守る